

NEWS LETTER

～地域包括ケアと地域共生社会の実現に向けた学びを共有するゼミ～
会議運営支援モデルの取り組みを紹介します。

発行：基幹型包括支援センター
NPOまち育てセンターりた、岡崎市長寿課
20の地域包括支援センター

点が線でつながらぬ組織をどうするか

by 中央包括（梅園学区）

【目的&ねらい】協議体形成のため、情報や課題を共有することで学区に横のつながりを作ることを目指す。各町の取り組みを互いに意識してもらいながら、見守り体制や通いの場作りにつないでいきたい。

【活動報告】

7月26日：梅園協議会にて竜美丘学区のフローチャート事例を紹介。竜美丘学区では、相談先が地域の役員等になっているが、梅園学区では、地域包括支援センターにしてほしいと意見あり。

・**計画**／梅園協議会の頻度を増やしていく。やり方を考えていく。

今行われている見守り活動を見える化する。

籠田町、9月に住民アンケートの報告会。

・**キーパーソン**／学区福祉委員長、梅園協議会長、民生委員長

・**成果**／住民が梅園協議会を変えて機能させたいという気持ちになったと思われる。

・**課題**／困ったら地域包括支援センターに相談という考え方が強いが、すべてに対応することは難しい。役員の課題意識は、梅園協議会で議論が十分にできないことにあり、福祉課題の取り組みに至れない。

【助言】梅園のフローチャートは住民の相談を包括が一旦受け止めることにし、その後「誰に相談したらいいですか？」と役員に相談してみてもどうか。分団の福祉課題を見える化、仮設を設定、振り返りを実施し、話し合いを有効なものに。

今回のキモ！

【A】 課題 共有	①「課題」「取組」「担い手」の把握 ②見える化 ③仮設の設定-どんな課題に対して、誰と、何をするか
【B】 合衆形成 動機づけ	④キーパーソンと作戦会議：課題の共有 ⑤ケーススタディ：先達事例から学ぶ ⑥地域主体の合衆形成
【C】 実行	⑦モデル的に実践してできることから始める ⑧協議体：健全な競争促進 ⑨出口の確定：自立的な仕組みと体制の確立

地域の活動拠点になり得る籠田公園open！ごまんどく体操に向けて動き出す。R2.3.14認知症の一人歩き模擬訓練を企画中。
地域支援上の大きな課題に飲まれず、地域包括ケア上の具体的な課題を糸口に進めよう。

【概況】学区福祉委員会の歴史が他地域に比べ浅く、役員も交代制や担い手不足のために、課題の共有が他学区よりも弱いと思われる。市営住宅は、高齢者、母子家庭や外国人の割合も高いため、役員の負担が大きい。岩津公園愛護運営会と、いわづハウス、市営住宅、北部地域福祉センターが近接している。

市営住宅と公園と空き家活用の取り組みをつなぎたい

by 北部包括（岩津学区）

【目的&ねらい】市営住宅、空き家、公園活用という異なる課題に対して、関係者をつなぐことで、新たなネットワークとコミュニティ拠点作りを目指す。

【活動報告】3月：市営住宅民生委員より相談を受け、包括より豊橋三本木の取組みを紹介。ニーズ把握と担い手確保に向けたアンケートを実施。回収率82.7%。アンケートから支援できるという回答を記名で22名得られる。7月15日：いわづハウスopen！

・**キーパーソン**／いわづハウスと公園愛護運営会を進めている障がいデイの管理者、市営住宅の民生委員・総代

・**成果**／8月市営住宅集会所にて講座開催実現。小中学生勉強会も実施。講座は、毎回数人の成果が集まった。包括の講座では、女性の座談会。月に1回くらいも持ち寄り会したいというニーズが明らかになった。

・**予定**／アンケート結果を住民全体に報告し、次につなげる。集会所の開放については、ニーズ把握とできることをマッチングさせて、見直す。

・**課題**／広報の仕方。チラシが分かりにくい。回覧が遅れ子供の参加者は0で、ニーズとの不一致が明らかになった。月1回の会といわづハウスがコラボできないか。

【助言】チラシでは、「講座」ではなく「開放日」にすると意図が伝わりやすい。メリットが、冷房が効いている、みんなで宿題できるなどのほうが分かりやすい。時間がない中でやってみたことは大事だが、準備も重要。ボランティアを募れるとよい。

今回のキモ！

夏季集会所講座開催のお知らせ

長い梅雨明け、本格的に暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか？
そんな暑い日の午後を、集会所にて過ごしていただく「プチ講座」と「小中学生勉強会」を開催いたします。
日時、内容は下記日程を予定しております。参加は自由ですので、お気軽にご参加ください。

＜8月日程＞ 岩津住宅集会所 ※ 時間内は出入り自由です。

日	曜日	プチ講座	小中学生勉強会
6	火	実用ボールペン字講座 13:30～16:30	13:30～16:30
7	水	地域包括センターいきいき講座	

子ども、お母さん、高齢者など、みんなにメリットがあると参加意欲につながる。いろいろな人の気持ちを知ってニーズを把握し、つながるきっかけを作ることができるよう、魅力をチラシに書く。

◆編集後記◆岡崎は市民活動が盛んで、「全部把握するなんて無理。つながっても何もしてあげられない。」とこちらからアプローチすることに二の足を踏んでしまいます。「知っていてくれるだけでいい。周知だけ手伝ってくれたら。」という声も聞きます。あふれる情報を拾いきれないとしたら、相手が必要な時に自分たちに声をかけてくれるように広い門戸を開いておきたいなあと思います。